

市民ネットワーク 市議会報告

2023年
1月23日発行

会派 市民ネットワーク

川口えみ 松島こずえ 五十嵐ともみ

11月市議会 (11/28 ~ 12/19)

市長と統一教会の 関係は…

市長が2019年の市長選に立候補した際に、統一教会に応援を依頼したと昨年9月に報道された件を11月議会で質しました。市長は、「いわゆるパーティ券の購入や電話かけの支援はなかったけれど、訪問したのは事実」。訪問したときに支援をお願いしたかと問うと「その会場にいる方の捉え方だと思う」と答弁。この発言からは、選挙応援をお願いするために訪問したとしか考えられません。

また、この報道が出てから市民に対し直接なんの説明もしていないことについては、「テレビや新聞等を通して説明している」と答弁。



(左)旧統一教会関連団体主催の「ピースロード」に参加の西田市長。佐倉市HP市長フォトレポートより

国に5億3千万円も返還したコロナ交付金問題の時にも同じような言い訳をしました。多くの市民から疑問の声があがっているのに、いまだに何の説明責任も果たしていない西田市長。このような市長に市政を任せていいのでしょうか。

コロナ感染症対策 独自策がない！

第8波に入り感染拡大が続いています。今夏の第7波では発熱外来に電話が繋がらないと悲痛な市民の声が市民ネットに数多く寄せられました。前号でお知らせしましたが、八千代市は発熱外来へ独自補助金を実施。第8波に入った12月には、習志野市や千葉市では家族分の備蓄用抗原検査キットの購入に、1個あたり700円の補助金を出しています。

市民の安心につながる独自の感染対策実施を求めましたが、医療に関しては県が対応と言うばかりで、まったくやる気がありません。市が、インフルエンザとの同時流

行が言われる1月に向け、積極的にコロナ対策に取り組むべきです。

新佐倉図書館の 駐車場が有料に！



新佐倉図書館は3月に開館します。駐車場は3時間以上は有料です(超過30分ごと100円。24時間最大700円)。市は駐車場の有料化のため年間約300万円かかるナンバー認識カメラ機器を導入。ただし、図書館だけでなく、美術館・商店街・周辺文化施設を利用の場合、手続きすれば無料になります。しかし、本来手続きしなくても、誰でも停まれるよう無料にすべきです。有料化しなければ、無駄な経費がかからず、市民の利便性も高まり、地域の活性化にもなります。

11月市議会の採択結果

意見書	結果	市民ネット	さくら会	公明	自民 さくら	共産	ひまわり会 オンブズ			
★強制的なマイナ保険証義務化を即刻中止し、従来の健康保険証制度に戻すことを求める意見書	×	○	×	×	×	○	藤崎○ 宇田×	○	×	×
★原発利用拡大を一方向的に進める政府方針案の撤回を求める意見書	×	○	×	×	×	○	○	○	×	×
★憲法の平和理念と財政民主主義に反する防衛予算大幅増額の撤回を求める意見書	×	○	×	×	×	○	藤崎○ 宇田×	○	×	×
★印は、市民ネットワーク提出 (敬称略)		五十嵐 川口 松島	中村、櫻井、石渡、 爲田、平野、敷根、 岡野、密本、 齋藤(明)	岡村、 久野、 鍋田、 押木	山本、 徳永、 石井、 齋藤	萩原、 木崎	藤崎、 宇田	稲田	高橋	玉城

通園バスの置き去り事件

昨年9月に福岡県で5歳児が通園バスに置き去りにされ、熱中症で死亡する痛ましい事件が起きました。そして今年9月に静岡県で3歳児が同様の事件で死亡しました。痛ましい事件の教訓が生かされていません。市内の状況を議会で質問しました。バス送迎を実施している園は、私立幼稚園5園と認定こども園10園で、市職員が実地調査を行い安全確認したとしています。園外活動用にバスを持っている園もありますが、こちらの確認もしたということでした。

置き去り事故は保護者の送迎でも起きる

昨年5月につくば市、今年11月に岸和田市で、保護者が保育園に送りに行った際、子どもを置き忘れ亡くなった事故もありました。

根本的な対策は

通園バスと保護者送迎の置き去りについて、どちらにも共通するのが、保護者が欠席連絡をしていないのに、園からの確認連絡がなく、いないと分かっていたのにそのまま見過したことです。佐倉市では、欠席連絡の確認や職員間の情報共有を徹底しているということですが、職員に余裕がないとミスは起こります。しかし現状では、一人の保育士がみる子どもの数が多すぎます。

一人の保育士がみる子どもの数

	国の配置基準	佐倉市	八千代市	埼玉県富士見市
0歳児	3人	3人	3人	3人
1・2歳児	6人	6人	1歳児5人 2歳児6人	1歳児4人 2歳児6人
3歳児	20人	20人	15人	13人
4・5歳児	30人	30人	4歳児25人 5歳児30人	4歳児18人 5歳児25人

子どもたちの安全を守るために、佐倉市は独自財源で保育士を増やすべきです。



子どもたちにこんな高い参加費？

市内全小中学校の児童生徒に、高額な参加費のイベントチラシが配布されました。1回目は1日5時間のイベント参加費1万2千円のチラシを、参加対象の小5～中2に配布。その後もオンラインとリアルで2日間のイベントに参加費9千円のチラシが、参加対象小4～中3に2回配布されました。小中学校にはさまざまな事情の児童生徒が通学しています。そもそも子ども対象のイベントを、このような高額な参加費で開催し、それを市が後援し学校で配布することが問題だと厳しく追及しました。市は今後精査すると答弁。おかしなチラシが配布されないよう目を光らせていきます。

おかしい佐倉市議会、不信任決議を無視ですか?!

12月の文教福祉常任委員会で、新佐倉図書館駐車料金に関する議案審議中のことでした。高橋とみお委員が「すでに3人の委員から質問がされ、理解した」として、質問ではなく「要望」を述べました。すると驚いたことに、平野裕子委員長は高橋委員の発言を遮り、「要望ではなく質問をしてください」と何度も繰り返したのです。委員会で「要望」をいうのは当たり前。質問しかしてはいけないというルールはありません。

高橋委員も「要望は認められる」と何度も抗議しましたが、委員長は折れず。そこで高橋委員は委員長不信任決議を提出。なんと賛成多数(○川口、高橋、藤崎 × 押木、石井)で可決しました。

ところが委員会が再開されると、平野委員長は何事もなかったように議事を進行。藤崎委員が「委員長を辞任

しないということか」と聞くと、「辞任する意思はない。このまま委員長を続ける」と発言。

市民ネットとして、不信任決議を受けての辞職勧告決議を提出したところ、またも賛成多数で可決。しかし休憩後、またもや委員長は、何事もなかったかのように議事を進めました。閉会日に、以下の3点を質疑しようとしたところ、高木議長に止められました。

- 常任委員会の質疑において、要望してはいけないという誤った発言は撤回しないのか。
 - なぜ委員長を続けようと思ったのか
 - 不信任と辞職勧告の決議をどう受け止めているか
- 委員長も議長も最大会派です。数の力で議会運営を左右することなど、あってはなりません。市議会を変えるよう、訴えていきます。

11月議会で質問

認知症になっても安心して暮らせるために

上野会 「ケアニンII ところに咲く花」

3月4日(土) 13:30 ~ 15:30
ミレニアムセンター佐倉 ホール

参加費 無料

問合せ: 043-463-5446

申込みはこちらから

<https://forms.gle/vJ8QPCDzBJC696q6>



認知症の高齢者の行方不明が多発しています。2025年には5人に1人が認知症になると推計されています。認知症対策は市にとって喫緊の課題です。昨年上映して好評だった「ケアニン」の続編を上映します。認知症対応のヒントが得られます。ぜひご覧ください。

